

当面のスローガン

- すべての市町村に「本人通知制度」を早期に導入させよう!
- 「人権侵害救済法」の制定をめざそう!
- 悪質な差別事件にたいして徹底的に糾弾しよう!



発行所  
解放新聞和歌山支局

〒640-8314  
和歌山市神前405-3  
TEL 073-473-2301  
FAX 073-473-2302

発行責任者  
中澤敏浩

# 2013年 荊冠旗びらき

## 部落解放同盟和歌山県連合会



年頭のあいさつをする中澤敏浩・執行委員長

あらたな年をむかえて  
先人の思いを受け継ぎ

2013年県連旗びらきを1月11日、ダイワロイネットでひらいた。各界各層より約300人が参加し、今年はじめのスタートをきった。

県連を代表して中澤敏浩・県連委員長より「今年は何となく和歌山県水産物が創立されて90年という記念すべき年でもある。先人の思いを受け継ぎ、部落解放にむけ、まい進しよう」とあいさつがあった。つづいて、国会議員はじめ多くの来賓の方々からあいさつがあり、鏡びらきの後に田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌

山県実行委員会会長の発声で乾杯した。

〈来賓〉

▼国会議員

二階俊博、石田真敏、岸本周平、門博文、大江康弘、浮島智子秘書・木野十三、鶴保庸介秘書・須崎弘一、世耕弘成秘書・福井康司、西博義・前議員

▼県・市町村

仁坂吉伸・県知事、大橋建

▼市町村議会

和田秀教・和歌山市議会議長、辻本意典・有田市議会議長、松本哲也・新宮市議会議長、山本年哲・有田町議会副議長、山本忠相・和歌山市議会議員、石本一也・湯浅町議会議員

▼労働組合・各種団体

田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会兼共闘会議議長、古谷紀男・連合和歌山会長、長坂隆司・和歌山県民社協会会長、赤松明秀・県同宗連議長、高橋格昭・鷲森別院輪番、坂頭徳彦・自治労県本部執行委員長、上田堅司・和歌山商工会議所事務局長、蓬臺孝紀・和歌山県商工会連合会専務理事、深真樹・高野山真言宗総本山金剛峯寺社会人権局長、野見山海・社民党和歌山県連合代表、藤原慎一郎・和歌山県平和フォーラム、野口道彦・和歌山人権研究所理

事長、辻健二・同所、胡るみ子・同所、矢野治世美・同所、飯田義章・同所、野口宗宏・和歌山県職員労働組合書記長、嶋本佳和・N T T労働組合和歌山分会長、川口貴敏・本州化学労働組合特別執行委員、中島俊之・日教組和歌山委員長、南方栄三・同書記長、藤井幹雄・顧問弁護士、畑中昭男・地方新聞協会生計ジャーナル副会長、中本久嗣・JA和歌山中央会、東山均・あいおいニッセイ同和損害保険(株)和歌山支店スタッフ、貝崎伸一・UDTラックスジャパン(株)企画業務部長、川口誠・日の出証券(株)和歌山支店主任、戸神良章・関西電力和歌山支店支店長、阿波潤・支店長室人材活性化グループ課長、山本浩司・同グループ副

〈メッセージ〉

▼中央本部・都府県連

中央本部、愛知県連、大阪府連、兵庫県連、京都府連、奈良県連、島根県連、山口県連、広島県連、香川県連、高知県連、佐賀県連

〈祝電〉

▼国会議員

二階俊博、石田真敏、岸本周平、鶴保庸介、世耕弘成

▼県市町村・同議会

望月良男・有田市市長、真砂充敏・田辺市長、田岡実千年・新宮市長、寺本光嘉・紀美野町長、井本泰造・かつらぎ町長、岡本章・九度山町長、木瀬武治・高野町長、上山章善・湯浅町長、森下誠史・美浜町長、中善夫・日高町長、日裏勝巳・印南町長、井潤誠・白浜町長、小出隆道・上富田町長、武田丈夫・古座川町長、田嶋勝正・串本町長、奥田貢・北山村長山下直也・和歌山県議会議長、長阪隆司・同議員、高垣幸司・田辺市議会議長、堀龍雄・かつらぎ町議会議長、南勝弥・白浜町議会議長、大石哲雄・上富田町議会議長、濱田勝裕・串本町議会議長

**頑健**  
先日、和歌山人権研究所編纂の『和歌山の部落史』の和歌山県水産社の創立を報じた「牟婁新報」の記事をみて感心した。「自然は進化する春から夏へ、人間は進化する鉄鎖より自由へ」と結ばれた記事の書き出しである。そこに記者の思いや信念が感じられる。反して、昨年の『週刊朝日』の記事やNHKの「鶴瓶の家族に乾杯」に関わる関係者の姿勢があった。問題は、後者の事例だけではなく、全体的に言えることだが「覗き見」と売ればいとも取れる姿勢だ。もちろん、マスコミも商売だから一定止む得ない面も否定しないが、タコが足を食うように何のための「報道の自由」なのか考えるべきだ。と、ちよつと生意気なことを書いてしまった▼それと昨日の深夜、テレビで「太陽」という映画を見た。ロシアなどの外国合作で(全編日本語と英語である)日本では、06年に公開された。外国映画といっても終戦から数日間(人間宣言まで)の昭和天皇の私的な面を題材にしたもので主演のイッセー尾形の怪演に見入ってしまった。公開当時、さまざま議論を呼んだことが容易に想像できる内容で、外国映画だから撮れたのだからということだ。機会があれば是非に▼今年のはじめの「頑健」でテーマが定まらず、最近の感じたこと